
【NITEケミマガ】NITE化学物質管理関連情報 第176号

2013/12/18配信

本メールマガジン【NITEケミマガ】（NITE化学物質管理関連情報）は、化学物質管理に関連するサイトの新着情報、報道発表情報等を配信するサービスです。

原則として、毎週水曜日に配信いたします。

なお、本メールマガジンは平成25年度独立行政法人製品評価技術基盤機構委託業務として、みずほ情報総研株式会社に記事作成を委託しております。

連絡先： chem-manage@nite.go.jp

----- 12/11～12/18までの更新情報 -----

●経済産業省・厚生労働省・環境省

【2013/12/12】

・平成26年度第1回少量新規化学物質の申出についてお知らせを掲載いたしました。

・経済産業省

→ http://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/kasinhou/todoke/shinki_shoryo_index.html

・厚生労働省

→ <http://www.mhlw.go.jp/topics/2013/05/tp0509-1.html>

・環境省

→ <http://www.env.go.jp/chemi/info/tetsuzuki.html>

平成26年1月20日から平成26年1月30日までの間、化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(昭和48年法律第117号)に基づく少量新規化学物質に関して、平成26年4月1日から平成27年3月31日までの製造又は輸入分の申出が受け付けられる。

【2013/12/13】

・平成25年度第8回薬事・食品衛生審議会薬事分科会化学物質安全対策部会化学物質調査会、化学物質審議会第133回審査部会、第139回中央環境審議会環境保健部会化学物質審査小委員会-開催通知

・経済産業省

→ <https://www.meti.go.jp/interface/honsho/committee/index.cgi/committee/5801>

12月20日に標記会合が開催される。議題は、

- (1) 前回指摘事項等の確認等について
 - (2) 新規化学物質の審議について
- など。

●経済産業省

【2013/12/13】

- ・第2回化学物質規制と我が国企業のアジア展開に関する研究会 - 配布資料
- http://www.meti.go.jp/committee/kenkyukai/seisan/kisei/002_haifu.html

12月11日に開催された標記会合の配布資料及び中間論点整理が掲載された。議題は、中間論点整理(案)について、など。

【2013/12/13】

- ・化学物質規制と我が国企業のアジア展開に関する研究会中間論点整理について
- http://www.meti.go.jp/committee/kenkyukai/seisan/kisei/report_001.html

標記資料が掲載された。今年度開催された、「化学物質規制と我が国企業のアジア展開に関する研究会」及び「情報共有ワーキンググループ」の議論の結果を受け、製品含有化学物質の情報伝達スキームの在り方に関する中間論点整理がとりまとめられた。

●厚生労働省

【2013/12/10】

- ・「平成24年度石綿ばく露作業による労災認定等事業場」を公表します～公表事業場数1,048事業場、うち新規は810事業場～
- <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000031628.html>

標記お知らせが掲載された。

【2013/12/10】

- ・「石綿ばく露作業による労災認定等事業場一覧表」を訂正します～平成17年7月、8月、平成20年3月、6月、12月、平成21年12月、平成22年11月、平成23年11月、平成24年11月公表分を訂正～
- <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000031638.html>

標記お知らせが掲載された。

【2013/12/12】

- ・「食品製造におけるHACCPによる工程管理の普及のための検討会中間取りまとめ」について

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000032030.html>

標記お知らせが掲載された。

●環境省

【2013/12/10】

- ・中央環境審議会環境保健部会(第28回)の開催について(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17469>

12月20日に標記会合が開催される。議題は、環境基本計画(化学物質分野)の点検について、など。

【2013/12/10】

- ・中央環境審議会水環境部会排水規制等専門委員会(第14回)の開催について(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17470>

12月24日に標記会合が開催される、議題は、カドミウムの排水基準等の見直しの検討について、など。

【2013/12/10】

- ・中央環境審議会大気・騒音振動部会(第4回)の開催について(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17472>

12月27日に標記会合が開催される。議題は、石綿飛散防止専門委員会の報告について(建築物の解体等現場における大気中の石綿測定方法及び評価方法について)、など。

【2013/12/12】

- ・中央環境審議会土壌農薬部会土壌環境基準小委員会(第1回)の開催について(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17483>

12月26日に標記会合が開催される。議題は、
(1) 土壌環境基準に関する調査検討の進め方について
(2) 1,1-ジクロロエチレンについて
など。

【2013/12/12】

・第15回 化学物質の内分泌かく乱作用に関する 日英共同研究ワークショップの結果について

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17486>

12月9日から10日にかけて名古屋市で開催された標記ワークショップの結果が掲載された。

【2013/12/16】

・中央環境審議会水環境部会環境基準健康項目専門委員会（第16回）の開催について（お知らせ）

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17492>

12月27日に標記会合が開催される。議題は、トリクロロエチレンの公共用水域及び地下水における環境基準値の見直しについて、など。

●農林水産省

【2013/12/16】

・平成15年3月4日農林水産省・環境省告示第1号(特定農薬を指定する件)の一部改正案についての意見・情報の募集について

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=550001843&Mode=0>

平成25年12月16日から平成26年1月14日までの間、標記の意見募集が行われている。

●内閣府食品安全委員会

【2013/12/09】

・第497回 食品安全委員会会議資料等

→ <http://www.fsc.go.jp/fsciis/meetingMaterial/show/kai20131209sfc>

12月9日に開催された標記会合の配布資料が掲載された。議題は、「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等(平成25年11月分)について、など。

【2013/12/11】

- ・食品安全関係情報を更新しました

→

http://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?keyword=%EF%BC%AC%EF%BC%A4%EF%BC%95%EF%BC%90&query=&logic=and&calendar=japanese&year=&from=struct&from_year=2013&from_month=11&from_day=16&to=struct&to_year=2013&to_month=11&to_day=29&areaId=00&countryId=000&informationSou

最新2週間分の海外情報(11月16日～11月29日)が更新された。

【2013/12/16】

- ・第498回 食品安全委員会資料等

→ <http://www.fsc.go.jp/fsciis/meetingMaterial/show/kai20131216sfc>

12月16日に開催された標記会合の配布資料が掲載された。議題は、

(1) 食品安全基本法第24条の規定に基づく委員会の意見の聴取に関するリスク管理機関からの説明について

- ・農薬3品目(エチプロール、ベンチアバリカルブイソプロピル、クレトジム)
- ・農薬及び動物用医薬品1品目(シペルメトリン)

(2) 食品安全基本法第24条の規定に基づく委員会の意見について

(3) 平成26年度食品安全モニターの募集について

(4) 食品安全関係情報(11月16日～11月29日収集分)について

●産業技術総合研究所 (AIST)

【2013/12/05】

- ・「PEN」2013年12月号が配信されました。

→

<http://pengin.ne.jp/index.php/ja/pen-back-number-2/finish/1-pen-issues/698-pen-2013-december-vol-4-no-9.html>

国内外におけるナノテクノロジー管理情報及び動向をまとめたPEN News Letter(2013年12月号)が掲載された。

【2013/12/10】

- ・ニュースレターNo. 18を公開しました。

→

http://www.aist-riss.jp/main/common/fckeditor/editor/filemanager/connectors/php/transfer.php?file=/uid000034_52495353204E6F2E31382E706466

標記資料が掲載された。内容は、

- ・レギュラトリーな科学の確立のための考察: 専門用語、専門家、専門委員会
 - ・産学官ニーズ対応型生態リスク評価管理ツール: AIST-MeRAM
- など。

●国立環境研究所 (NIES)

【2013/12/16】

- ・最近の直噴ガソリン乗用車からの微粒子排出状況

→ <http://www.nies.go.jp/whatsnew/2013/20131216/20131216.html>

標記結果が掲載された。最近の直噴ガソリン自動車から比較的高濃度の微粒子が排出されることが確認され、また粒子の化学組成について、重量の大半はスス(元素状炭素)であることが明らかとなった。

●国立医薬品食品衛生研究所 (NIHS)

【2013/12/11】

- ・食品安全情報(化学物質) No. 25 (2013. 12. 11)

→ <http://www.nihs.go.jp/hse/food-info/foodinfonews/2013/foodinfo201325c.pdf>

標記資料が掲載された。食品の安全性に関する国際機関や各国公的機関等の最新情報が紹介されている。

●農林水産消費安全技術センター (FAMIC)

【2013/12/12】

- ・[メールマガジン]バックナンバーに第513号を掲載しました。

→ http://www.famic.go.jp/mail_magazine/backnumbers/No513.htm

標記情報が更新された。

●中小企業基盤整備機構

【2013/12/13】

- ・ [J-Net21]REACH Q. 415:SVHCを含有する成形品のEU域内への輸出を停止した場合の対応について

→ <http://j-net21.smrj.go.jp/well/reach/qa/415.html>

標記Q&Aが掲載された。

【2013/12/13】

- ・ [J-Net21]RoHS Q. 403:REACH規則における認可対象物質に、RoHS指令における適用除外が適用されるかどうかについて

→ <http://j-net21.smrj.go.jp/well/rohs/qa/403.html>

標記Q&Aが掲載された。

【2013/12/13】

- ・ [J-Net21]REACH コラム:処理成形品に関するFAQ(1)

→ <http://j-net21.smrj.go.jp/well/reach/column/131213.html>

標記コラムが掲載された。

●海外環境協力センター (OECC)

【2013/12/12】

- ・ 中国環境情報11月号を掲載しました。

→ <http://www.oecc.or.jp/contents/china/china1311.html>

標記資料が掲載された。内容は、中国政府(国務院、環境保護部)の環境政策の動き、地方(地方政府等)の環境情報、など。

●欧州化学品庁 (ECHA)

【2013/12/10】

- ・ Data on Candidate List substances in articles

→

http://echa.europa.eu/documents/10162/13642/data_candidate_list_substances_in_articles_en.pdf

ECHAは、REACH規則に基づいて、事業者からの登録情報や届出情報に基づ

いて、高懸念物質(SVHC)が含有されている製品リストを更新した。6ヶ月に一度の頻度で更新される。

【2013/12/11】

• RAC concludes on nine scientific opinions for CLH

→

http://echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/rac-concludes-on-nine-scientific-opinions-for-clh

ECHAのリスク評価専門委員会(RAC)は、CLP規則に基づく調和化された分類・表示に対する9物質の科学的意見を採択した。対象は、

- Sulfoxaflor
- Phenol, dodecyl-, branched (TPP)
- Lead (metallic)
- Tributyltin compounds
- Trisulfuron methyl, bifenazate, fenpyroximate and lenacil
- Trisulfuron methyl
- Bifenazate
- Fenpyroximate
- Lenacil

【2013/12/11】

• Is your substance identity information up-to-date?

→

http://echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/is-your-substance-identity-information-up-to-date

ECHAは、登録時のドシエの質を向上させることを目的として、ITツールによるドシエのスクリーニングチェックを導入した。物質同定の情報について共通する誤りが見受けられるドシエがピックアップされ、ドシエの提出事業者に対して、修正依頼が送付される。また、ECHAは、2014年の早期に、ドシエの品質向上ツールを導入する予定としている。

【2013/12/12】

• QSAR Toolbox version 3.2 now available

→

http://echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/qsar-toolbox-version-3_2-now-available

ECHAは、QSAR Toolbox (Version 3.2)を公表した。

【2013/12/12】

- Fact sheet explaining toll manufacturer responsibilities under REACH

→

http://echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/fact-sheet-explaining-toll-manufacturer-responsibilities-under-reach

ECHAは、委託製造事業者(toll manufacturers)の定義とREACH規則に基づく義務に言及するファクトシートを公表した。

【2013/12/13】

- Harmonised classification and labelling current consultations

→ <http://echa.europa.eu/harmonised-classification-and-labelling-consultation>

ECHAは、CLP規則に基づき、調和化された分類・表示提案を発表し、パブリックコンサルテーションを開始した。対象物質は以下の3物質で、コメントの提出期限は2014年1月27日。

- N,N-dimethylacetamide(CAS:127-19-5)
- Reaction mass of bis(2,2,6,6-tetramethyl-1-octyloxypiperidin-4-yl)-1,10-decanedioate and

1,8-bis[(2,2,6,6-tetramethyl-4-((2,2,6,6-tetramethyl-1-octyloxypiperidin-4-yl)-decan-1,10-dioyl)pi

peridin-1-yl)oxy

]octane(CAS記載なし)

- perfluorononan-1-oic acid and its salts(CAS:375-95-1、21049-39-8、4149-60-4)

【2013/12/13】

- Two new Guidance in a Nutshell documents: for downstream users and on the compilation of safety data sheets

→

http://echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/two-new-guidance-in-a-nutshell-documents

ECHAは、REACH規則に基づく川下ユーザー向けガイダンス及び安全性データシート(SDS)の編集に関するガイダンスの概要版を23ヶ国語で公開した。

【2013/12/13】

- REACH-IT, R4BP 3 and ECHA Helpdesk will be closed during Christmas

and the New Year

→

http://echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/reach-it-r4bp-3-and-echa-helpdesk-will-be-closed-during-christmas-and-the-new-year

ECHAは、REACH-IT、R4BP3及びECHAのヘルプデスクは、年末年始(2013年12月23日～2014年1月2日)の間は閉鎖することを発表した。

【2013/12/13】

- RAC and SEAC agree on restrictions and authorisations

→

http://echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/rac-and-seac-agree-on-restrictions-and-authorisations

ECHAは、12月に開催した全体集会の議事概要を公表した。議事の中には、REACH規則に基づくRestrictionとAuthorisationに関する合意事項が含まれている。

- 消費者製品中鉛及び鉛化合物に対するRestrictionの措置について
- 六価クロム及び無期ヒ素の発がん性に関する容量反応曲線について
- PBT物質及びvPvB物質のRestriction及びAuthorisationにおける評価を検討するためのワーキンググループの設立について
- Authorisationに基づく初めての認可申請(対象物質:DEHP)について

【2013/12/16】

- ECHA updates the Candidate List for authorisation with seven new substances of very high concern (SVHCs)

→

http://echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/echa-updates-the-candidate-list-for-authorisation-with-seven-new-substances-of-very-high-concern-svhcs-

ECHAは、REACH規則に基づいて新たに7物質を高懸念物質(SVHC)に特定したことを公表した。これにより、SVHCに特定され、Candidate Listに収載された物質は合計で151物質となる。

- Cadmium sulphide (CAS:1306-23-6)
- Disodium 4-amino-3-[[4'-[(2,4-diaminophenyl)azo][1,1'-biphenyl]-4-yl]azo]-5-hydroxy-6-(phenylazo)naphthalene-2,7-disulphonate (C. I. Direct Black 38) (CAS:1937-37-7)
- Dihexyl phthalate (CAS:84-75-3)
- Imidazolidine-2-thione; (2-imidazoline-2-thiol) (CAS:96-45-7)
- Trixylyl phosphate (CAS:25155-23-1)

- Disodium 3,3'-[[1,1'-biphenyl]-4,4'-diylbis(azo)]bis(4-aminonaphthalene-1-sulphonate)
(C.I. Direct Red 28) (CAS:573-58-0)
- Lead di(acetate) (CAS:301-04-2)

●米国環境保護庁 (US EPA)

【2013/12/11】

- EPA Holds Bi-Monthly IRIS Public Meeting

→

<http://yosemite.epa.gov/opa/admpress.nsf/eeffe922a687433c85257359003f5340/1b6b6b89fe0848a185257c3e0079ee84!OpenDocument>

米国EPAは、12月12日から13日にかけてIRISのリスク評価に関する公聴会を開催した。対象物質は、

- ethylene oxide (EtO)
- benzo(a)pyrene
- ethyl tert-butyl ether (ETBE)
- tert-butyl alcohol (tert-butanol)
- hexahydro-1,3,5-triazine (RDX)

【2013/12/12】

- EPA Provides Updated Guidance to Schools on PCB-containing Lighting Fixtures

→

<http://yosemite.epa.gov/opa/admpress.nsf/eeffe922a687433c85257359003f5340/2e548f3ed779c8a085257c3f006147ad!OpenDocument>

米国EPAは、学校の照明器具に含有されるPCBに関するガイダンス文書を更新した。

【NITEケミマガ】をご利用いただきまして、ありがとうございます。

- 【NITEケミマガ】のバックナンバーは、下記HPをご覧ください。

→ <http://www.safe.nite.go.jp/shiryo/chemimaga.html>

- 配信停止をご希望の方は、以下のURLをクリックして下さい。

→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_del.html

- 配信先e-mailアドレスの変更をご希望の方は、以下のURLをクリックして配信停止手続をしていただき、新たに配信登録をお願いします。

配信停止→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_del.html

配信登録→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_01.html

●ご意見・ご感想・ご要望等は、以下のメールアドレスまでご連絡ください。

chem-manage@nite.go.jp

- ・【NITEケミマガ】の転送、複写は、読者の組織内に対し全文の転送、複写をする場合に限り、自由に行って頂いて構いません。
- ・組織外への公表・転送、商用利用等につきましては、以下のメールアドレスまでお問い合わせください。

→ chem-manage@nite.go.jp

- ・発行元：独立行政法人製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター
- ・記事作成元：みずほ情報総研(株) 環境エネルギー第1部 環境リスクチーム